

関根委員 御発表資料

書き言葉のコミュニケーション

関根健一

国語問題小委員会

2016・10・7

1

新聞はなぜその言葉を言い換えるか

① 難しいから

難語、専門用語、カタカナ語など

② 戸惑うから

異表記、異語的同語など(表記統一)

③ 傷つけるから

不快感、屈辱感を与える語句、表現

2

気になりませんか？（新聞・放送で気をつけている表現）

- × 今年台風の当たり年だった
- × 乗客を積み残して発車してしまった
- × ペットの里親を募集
- × 俳優〇〇さんが入籍していたことが分かった
- × 若くして未亡人となって1年
- × すんでのところ救出されるという一幕もあった

7

気になりませんか？（新聞・放送で気をつけている表現）

- × 台風の当たり年→「当たり年」（豊年満作の年）でたとえていいか？
- × 乗客の積み残し→人を荷物のように扱うのは？
- × ペットの里親→里親は飼い主ではない
- × 入籍→「家制度」の価値観？
- × 未亡人→夫と共に死ぬべきなのにまだ死なない人
- × 救出されるという一幕もあった→芝居ではない

8

当事者にとってみれば

.....台所付近がよく焼けており、出火原因を調べている。火災現場近くに住む人は、「前の日はお祭りで、前の道路はみこしが通っていた。祭りの日でなくてよかった」とほっとしたようすだった。

9

当事者にとってみれば

.....台所付近がよく焼けており、出火原因を調べている。火災現場近くに住む人は、「前の日はお祭りで、前の道路はみこしが通っていた。祭りの日でなくてよかった」とほっとしたようすだった。

よく焼けて→激しく焼けて・完全に焼けて
よかった、ほっとした→正直な感想を述べただけだが、被災者の心情を思えば.....

10

使い方によっては

～までして

～あがりだ

～ごときが ～のくせに

～にでもなるしか

～だてらに ～のくせに

～くらいなら～にもできる

<謙譲表現の落とし穴>

11

【読者はこれが分からない】

<読みが分からない>

欺き、侮れず、過って、居丈高、逸し、畝、赴く、難くない、上下姿、酒林、参画、下話、出自、試料、隻腕、競る、大団円、建屋、不世出、経巡る、緩い

<意味が分からない>

あやかし、あらがえず、いけがし、いまだし、いじましい、委嘱、一席、一兵卒、上書き、大甘、可視化、学際、画期、かまびすしい、完膚無きまで、旗艦店、既視感、喫緊、経験則、けれん味、験担ぎ、言やよし、好感されて(経済用語)呼称、さはさりながら、小悪魔、小江戸、口角泡を飛ばす、しくはない、市井の人、しどけない、雌伏、重篤、首長、上意下達、秋霜烈日、証左、小紙、小欄、除斥、生殺与奪、是々非々、席卷、宗主国、たおやかに、たられれば、稚拙、衷心、土気色、敵失、度し難い、怒髪天、島しょ、とまれ、ねぶり箸、ハレとケ、百寿、不織布、まかない、諮る、疲弊、罷免、秒殺、矛先、埋却、真水(経済用語)、丸投げ、無窮、妄言、もとる、ものかは、野選、誘客、よすが、猟官運動、楼閣

(以下はルビ付き) 淹れる、隠蔽、鬱屈、傀儡、奇矯、健気、燦然、忸怩、驟雨、生老病死、書肆、垂涎、水団、糟糠の妻、韜晦、曝露、俯瞰、木鶏、無謬

(2009年～2011年にかけて寄せられた質問から。記事の中で注釈を付けていてもそれに気づかないで聞いてきた場合もある。また、実際の紙面では使っていない言葉も含まれる。)

12

【読者はこれが分からない】

外来語・カタカナ語・アルファベット略語

アンチエイジング、アンペイドワーク、イズム、イノセンス、重大インシデント、エコ、エコファンド、オールオアナッシング、オマージュ、カラビニエリ、クロスチェック、クロニクル、コージェネレーション、コスプレ、コマーシャルペーパー、コミット、コンテンツ産業、サージャン、サクセス、サブプライム、サンクチュアリ、ジャンル、スティック、ストーカー、ストリートファッション、セッション、ゼロベース、(本の)ソムリエ、ゾンビ、チキンレース、ディフェンスとオフェンス、データベース、トラウマ、バイリンガル、バルーンスカート、ハンドリガード、ヒエラルキー、ビオトープ、ビバーク、ヒルクライム、ファンド、フェーズ、ブレイクした、プレ(衆院選)、プリン効果、フロック、ベタな、ベント、ポピュリスト、モチベーション、モラルハザード、モンスターペアレント、リスペクト、リスニング(ヒアリングとの違い)、リテラシー、リベラル、ルーチン、ルビコン川、レームダック、レジーム、BSとCS、M&A、MC、R指定、Vシネマ

伝わらなかった「避難情報」の意味

◆岩手県の被害額 ※台風10号のみ

1394億4328万円 (27日現在)

道路や橋の流失など	876億
土木施設被害	6798万円
田んぼの冠水や生乳の集荷不能など	83億
農業被害	7989万円
サケふ化場の浸水や防波堤の損壊など	66億
水産被害	6905万円
工場の浸水や観光施設の損壊など	224億
商工・観光被害	7514万円

など

岩泉町は台風10号が上陸する約9時間前の30日午前9時、町内に避難情報を出した。健康者は避難準備を始めた。高齢者や障害者ら避難に時間がかかる「災害弱者」は避難を始めなければならぬ。同町の認知症グループホ

■「勧告」不十分

水位を上げ、氾濫。30日午後6時過ぎ、施設は濁流にのまれ、入所者9人が命を落とした。

同町ではさらに10人が犠牲になった。町は、全ての人が避難を始めなければならぬ指標「避難勧告」を小本川流域以外の一部にしか出しておらず、水害への危機意識の甘さを露呈した。

「ムー森ん染ん」では、「避難開始は『避難勧告』後」と考えており、避難準備情報の意味は正しく理解されていなかった。近くの小本川は急激に

＜避難準備情報＞災害の発生する可能性が高まった状況において、高齢者等の避難に時間を要する方などに避難を促す情報であるとともに、それ以外の方が避難の準備を開始する情報。

＜避難勧告＞災害が発生する可能性が明らかに高まった状況において、一般の方に避難の開始を求めるもの。

＜避難指示＞災害が発生する危険性が非常に高くなった状況等において、未だ避難していない住民は直ちに避難し、避難するいとまがない場合は生命を守る最低限の行動を取るよう指示するもの。

(拘束力は 弱い<【避難準備情報】<【避難勧告】<【避難指示】<強い)

15

内閣府が2010年、大雨で避難指示や勧告が出た広島県などの5市町の住民を対象に行ったアンケート(有効回答1567人)

避難情報の種類と意味を

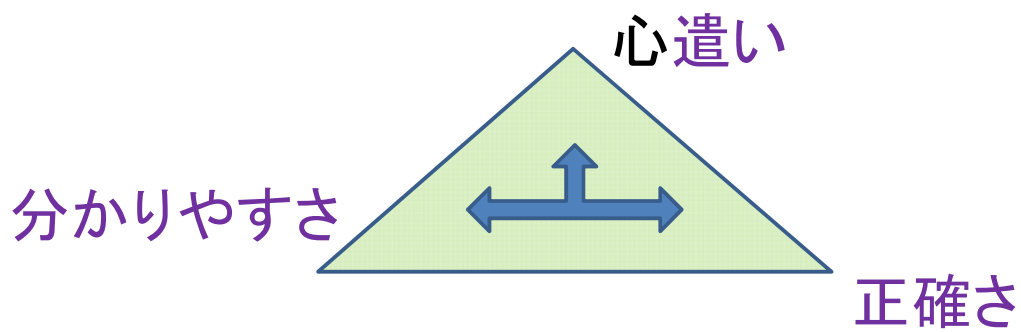
「初めて知った」=41・9%

「ある程度は知っていた」=53・0%

「よく知っていた」=5・2%

16

○「広場」のコミュニケーション



○「専門家 ↔ 非専門家」のコミュニケーション

 情報弱者を作らない